

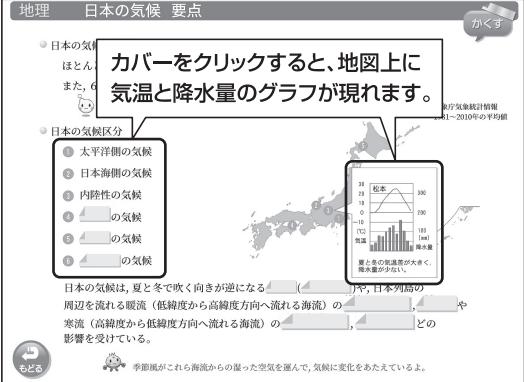
1. 学習項目

気候と日本(1h計画)

2. 本時の目標

- ・日本の気候の特徴を調べる。
- ・日本の気候は自然災害などと密接な関係を持っていることを理解する。

3. 本時の展開

	学習内容と主な発問	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1. 日本の気候の特徴を考える。 「私たちの暮らす日本は、変化に富んだ気候に恵まれています。各季節毎にどのような特徴があるのかを考えてみましょう。」</p>	<p>「春は温暖で過ごしやすい。」「夏は湿度が高く暑い。」「梅雨がある。」「冬は雪がたくさん降る地方がある。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春夏秋冬、それぞれの季節ごとに気候の特徴を考えさせる。 ○ 梅雨や台風などにも着目させる。
展開Ⅰ	<p>2. 日本国内の気候区分を調べる。 「日本は地方によってかなり気候の差があります。その様子を調べてみましょう。」</p> <p>〈日本の気候〉要点</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地方の気候が、どのような自然的要因に起因するものかを考える。(グループ活動) ○ 気候の特徴と要因の関係について意見を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まずは自分たちが住んでいる地域がどの気候にあたるか、見当をつけさせ、その特徴について考えさせる。 ○ 制限時間を設けてソフトの内容を調べさせてから、プロジェクトなどを使って内容を確認するといい。

【教科書対応表】※ この指導案は下記教科書に対応しています。ご参照ください。

出版社名	教科書名	区分 / タイトル
教育出版	中学社会 地理	第2編 第2章 ④ / 四季のある気候 ⑤ / 自然災害に向き合う ⑥ / 災害から身を守るために
東京書籍	新しい社会 地理	第2編 第2章 2 / 気候から見た日本の特色 3 / 自然災害と防災・減災への取り組み
日本文教出版	中学社会 地理的分野	第3編 第2章 ② / 気候から見た日本の地域的特色と地域区分 ③ / 地震・火山災害から見た日本の地域的特色と地域区分 ④ / 気象災害から見た日本の地域的特色と地域区分 ⑤⑥ / 災害にそなえるために
帝国書院	中学生の地理	第3部 第2章 3 / 日本の気候 4 / 日本のさまざまな自然災害 5 / 自然災害に対する備え

	学習内容と主な発問	学習活動	指導上の留意点
展開I	<p>地理 日本の気候 要点</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の気候の特徴 ほとんどが_____にふくまれているので_____がある。 また、6月頃の_____や、夏から秋にかけて来る_____が雨が多く降らされている。 _____で、北海道には梅雨がないよ。 日本の気候区分 <ul style="list-style-type: none"> ① _____の気候 ② _____の気候 ③ _____の気候 ④ _____の気候 ⑤ _____の気候 ⑥ _____の気候 日本の気候は、夏と冬で吹く向きが逆になる_____や、日本列島の周辺を流れの暖流（低緯度から高緯度方向へ流れる海流）の_____や寒流（高緯度から低緯度方向へ流れる海流）の_____などの影響を受けている。 季節風がこれらの海流からの運んだ空気を運んで、気候に変化をもたらしているよ。 	<p>地理 日本の気候 要点</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の気候の特徴 ほとんどが_____にふくまれているので_____がある。 また、6月頃の_____や、夏から秋にかけて来る_____が雨が多く降らされている。 _____でも、北海道には梅雨がないよ。 日本の気候区分 <ul style="list-style-type: none"> ① 太平洋側の気候 ② 日本海側の気候 ③ 内陸性の気候 ④ 海岸性の気候 ⑤ 高原性の気候 ⑥ 北海道の気候 日本の気候は、夏と冬で吹く向きが逆になる_____や、日本列島の周辺を流れの暖流（低緯度から高緯度方向へ流れる海流）の_____や寒流（高緯度から低緯度方向へ流れる海流）の_____などの影響を受けている。 季節風がこれら海流からの運んだ空気を運んで、気候に変化をもたらしているよ。 	<p>地理 日本の気候 要点</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の気候の特徴 ほとんどが温帯にふくまれているので四季がある。 また、6月頃の雨や、夏から秋にかけて来る台風が雨を多く降らしている。 _____で、北海道には梅雨がないよ。 日本の気候区分 <ul style="list-style-type: none"> ① 太平洋側の気候 ② 日本海側の気候 ③ 内陸性の気候 ④ 海岸性の気候 ⑤ 高原性の気候 ⑥ 北海道の気候 日本の気候は、夏と冬で吹く向きが逆になる季節風（モンスーン）、日本列島の周辺を流れの暖流（低緯度から高緯度方向へ流れる海流）の東洋（日本海流）、対馬海流や寒流（高緯度から低緯度方向へ流れる海流）の西洋（千島海流）、リマン渦などへの影響を受けている。 季節風がこれら海流からの運んだ空気を運んで、気候に変化をもたらしているよ。
	<p>※ 計6気候区分それぞれのカバーをクリックすると、画面上の地図の該当地域に平均気温と平均降水量、および簡単な気候の特徴を記したグラフが表示されます。このグラフをそれぞれ比較して、各気候区分の特色に気づかせるよう工夫しましょう。</p> <p>※ また、海流・季節風も表示されますので、気候に影響を与える重要な要因として着目させるとよいでしょう。</p>		
	<p>3. 特色ある日本の気候から生まれる影響を考える。 「気候と自然災害の関係を考えてみましょう。」</p> <p>〈日本の自然災害〉要点</p>	<p>○ 身近な自然災害がなぜ生じるのか 原因を「展開I」で調べた気候の特色等から考える。</p>	<p>○ 自然災害にはどのようなものがあるのかをまず生徒から発表せると理解しやすい。</p>
展開II	<p>地理 日本の自然災害 要点</p> <ul style="list-style-type: none"> 造山帯に起る災害 造山帯では_____や火山の噴火が多い。 ⇒ この_____により海では_____が発生する。 日本で起きた大きな地震には、1955年の_____（兵庫県南部地震）や、 2004年の新潟県中越地震、2011年の_____（東北地方太平洋沖地震）などがある。 2011年の東北地方太平洋沖地震は、震央の震源距離でこれまで最も大きな震源距離で大震災だった。強いていえば、津波が生じ、多くの死者・行方不明者を出した。この地震と、それに伴って発生した原子力発電所の事故による災害を総称して、東日本大震災といっているんだ。 雨や風によって起こる災害 _____によって雨が大量に降る。 ⇒ _____からくずれが発生する。 また、_____は雨ばかりでなく強風もたらす。 ⇒ 海では_____が発生する。 地域特有の災害 _____…夏に低温になる。北海道や東北地方で起こる。 _____…降水量が多い。日本海側で起こる。 _____…水不足になると、主に西日本で起こる。 土石流…暴雨や豪雨によって、水を含んだ黏土や岩片が突然一気に山の斜面を流れ降りる現象。 ハザードマップ…自然災害による被災の可能性や避難場所などをわかりやすく示した地図。 	<p>地理 日本の自然災害 要点</p> <ul style="list-style-type: none"> 造山帯に起る災害 造山帯では地殻や火山の噴火が多い。 ⇒ この地震により海では津波が発生する。 日本で起きた大きな地震には、1955年の阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）や、 2004年の新潟県中越地震、2011年の東北地方太平洋沖地震などがある。 2011年の東北地方太平洋沖地震は、震央の震源距離でこれまで最も大きな震源距離で大震災だった。強いていえば、津波が生じ、多くの死者・行方不明者を出した。この地震と、それに伴って発生した原子力発電所の事故による災害を総称して、東日本大震災といっているんだ。 雨や風によって起こる災害 _____によって雨が大量に降る。 ⇒ _____からくずれが発生する。 また、_____は雨ばかりでなく強風もたらす。 ⇒ 海では_____が発生する。 地域特有の災害 _____…夏に低温になる。北海道や東北地方で起こる。 _____…降水量が多い。日本海側で起こる。 _____…水不足になると、主に西日本で起こる。 土石流…暴雨や豪雨によって、水を含んだ黏土や岩片が突然一気に山の斜面を流れ降りる現象。 ハザードマップ…自然災害による被災の可能性や避難場所などをわかりやすく示した地図。 	<p>地理 日本の自然災害 要点</p> <ul style="list-style-type: none"> 造山帯に起る災害 造山帯では地殻や火山の噴火が多い。 ⇒ この地震により海では津波が発生する。 日本で起きた大きな地震には、1955年の阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）や、 2004年の新潟県中越地震、2011年の東北地方太平洋沖地震などがある。 2011年の東北地方太平洋沖地震は、震央の震源距離でこれまで最も大きな震源距離で大震災だった。強いていえば、津波が生じ、多くの死者・行方不明者を出した。この地震と、それに伴って発生した原子力発電所の事故による災害を総称して、東日本大震災といっているんだ。 雨や風によって起こる災害 前田の雨によって雨が大量に降る。 ⇒ 津波やくずれが発生する。 また、台風は雨ばかりでなく強風もたらす。 ⇒ 海では津波が発生する。 地域特有の災害 ① 寒害…夏に低温になる。北海道や東北地方で起こる。 ② 雪害…降水量が多い。日本海側で起こる。 ③ 水不足…水不足になると、主に西日本で起こる。 ④ 土石流…暴雨や豪雨によって、水を含んだ粘土や岩片が突然一気に山の斜面を流れ降りる現象。 ⑤ ハザードマップ…自然災害による被災の可能性や避難場所などをわかりやすく示した地図。
	<p>気候と深い関連のある自然災害を説明する時は、「展開I」で使用した〈日本の気候〉のページと照らし合わせると更に理解を深めることができます。</p>		
まとめ	<p>4. 本時の学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本にはいろいろな特色的気候をもった地域が存在する。 多様な気候によってもたらされる自然災害も多く存在する。 	<p>○ 本時の学習を通して分かったことや、感想を発表する。 (もしくはノート等にまとめる。)</p>	<p>○ すでに学習した世界の気候と比較し、その特色を再確認させてもよい。</p>

memo

組 番 名前

● 日本の気候の特徴

ほとんどが にふくまれているので四季がある。

また6月頃の や、夏から秋にかけてくる が雨を多く降らせている。

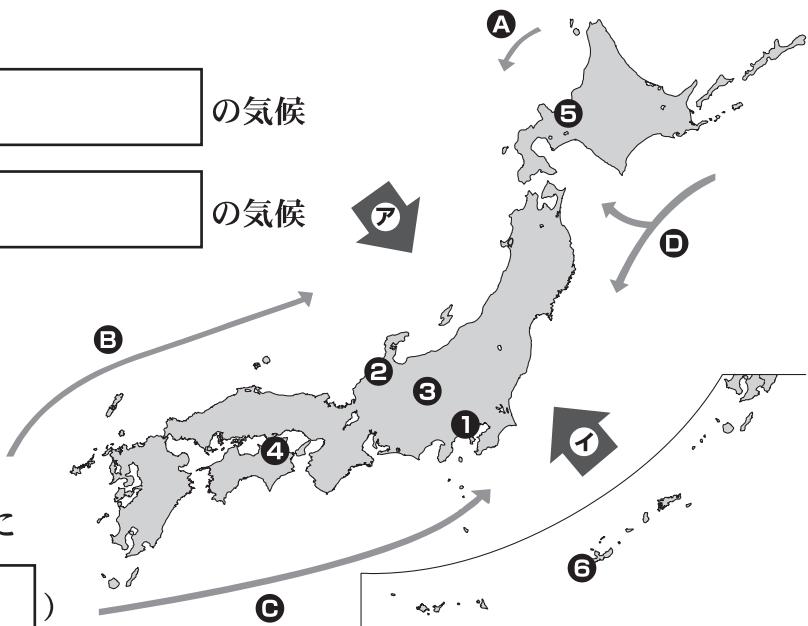
● 日本の気候区分

① の気候 ② の気候

③ の気候 ④ の気候

⑤ の気候

⑥ の気候



日本の気候は、夏と冬で吹く向きが逆に

なる ()

や、日本列島の周辺を流れる暖流の (日本海流)、寒流の (千島海流)
などの影響を受けている。

▶ 海流の名前を書き、暖流と寒流のどちらかが分かるよう()の中の正しい方に○をつけましょ。

A (暖流・寒流)

B (暖流・寒流)

C (暖流・寒流)

D (暖流・寒流)

▶ ②と④の季節風のうち、夏に吹くのはどちらですか？

組 番 名前

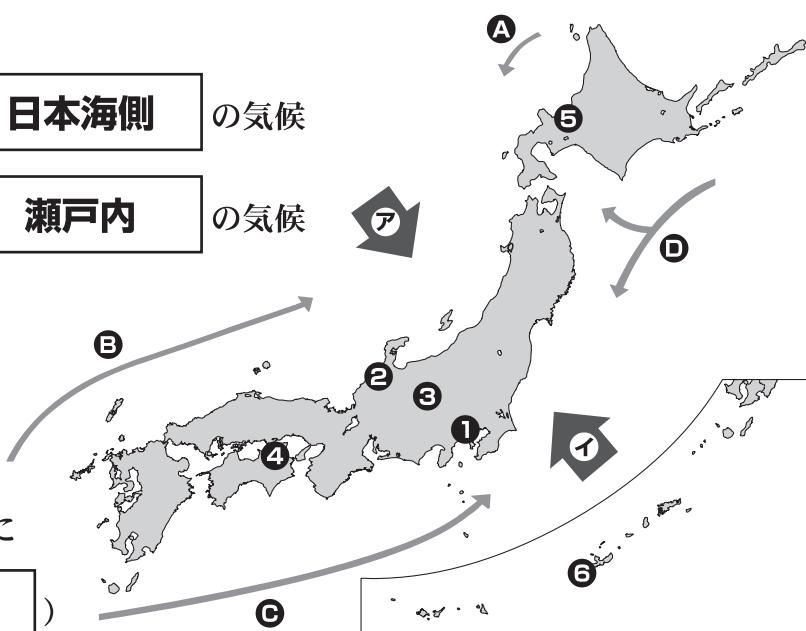
● 日本の気候の特徴

ほとんどが **温帯** にふくまれていて四季がある。

また6月頃の **梅雨** や、夏から秋にかけてくる **台風** が雨を多く降らせている。

● 日本の気候区分

- | | | | |
|---------------|-----|---------------|-----|
| ① 太平洋側 | の気候 | ② 日本海側 | の気候 |
| ③ 内陸性 | の気候 | ④ 瀬戸内 | の気候 |
| ⑤ 北海道 | の気候 | | |
| ⑥ 南西諸島 | の気候 | | |



日本の気候は、夏と冬で吹く向きが逆になる **季節風** (**モンスーン**)

や、日本列島の周辺を流れる暖流の **黒潮** (日本海流)、寒流の **親潮** (千島海流)などの影響を受けている。

▶ 海流の名前を書き、暖流と寒流のどちらかが分かるよう()の中の正しい方に○をつけましょう。

- A **リマン海流** (暖流・寒流)
- B **対馬海流** (暖流・寒流)
- C **黒潮(日本海流)** (暖流・寒流)
- D **親潮(千島海流)** (暖流・寒流)

▶ ②と④の季節風のうち、夏に吹くのはどちらですか？

